

あおもりアースレンジャー活動報告書

平成24年10月18日

青森県環境生活部環境政策課長 殿

活動内容を次のとおり報告いたします。

| | |
|------|---|
| 氏名 | 土岐 泰 |
| 活動期間 | 平成24年4月～平成24年9月 |
| 活動地域 | 主に弘前市周辺 |
| 活動内容 | <p>1、青森県環境政策課地球温暖化防止推進活動への参加・協力</p> <p>(1) 青森県地球温暖化防止推進員委嘱状交付式・研修会に参加</p> <p>①日時：4月27日（金）10：00～12：00</p> <p>②場所：県庁北棟5階AB研修室</p> <p>③内容：○委嘱状の交付－25名中23名出席（津軽・西北五地区9名）</p> <p>○開会挨拶「県の目標達成のために家庭における身近な推進活動が望まれる。小さな取組が大きな輪になるように推進員に期待する」の言葉があった。</p> <p>○県職員・AEP C関係者の紹介</p> <p>○研修会では、推進員の役割、県の地球温暖化対策、青森県地球温暖化防止活動推進センター事業について、推進員の交流（自己紹介、活動報告）</p> <p>④感想：推進員としての活動は第6期目となり、これまでを振り返っても温暖化防止に殆ど役立つことは出来なかったような気がするが、せめてハチドリのように自分の出来る活動を継続する気持ちで、仲間の推進員の方々と連携し合いながら新たな歩みを始めたいと思った。</p> <p>(2) 環境教育推進プロジェクトの一環である「環境出前講座」への参画</p> <p>①「環境教育専門員弘前地域連絡会議」設立会議</p> <p>○主催：青森県環境政策課、ストップ温暖化センターあおもり</p> <p>○日時：5月20日（日）10：00～11：30</p> <p>○場所：弘前市総合学習センター第一研修室</p> <p>○内容：a) 環境教育専門員弘前地域連絡会議の設立一名称が「津軽地区」となり、会員は11名。</p> <p>b) 平成24年度の実施体制一津軽地区のコーディネート事業はNPO法人ECOリパブリック白神が担当</p> <p>○感想：今年度の実施体制がわかり、自分としては弘前周辺または、通える範囲の津軽地区の出前講座を希望しようと思った。</p> <p>②環境教育専門員スキルアップ講習会に参加</p> <p>○主催：青森県環境政策課・NPO法人ECOリパブリック白神</p> <p>【1回目】</p> <p>○日時：6月16日（土）13：00～16：00</p> <p>○場所：弘前市総合学習センター視聴覚室</p> <p>○講師：吉田春樹（平成23年度環境専門員）、三浦賀子（NPO法人CROSS事務局）</p> <p>○内容：「買い物ゲーム」「どっちなゲーム」のシナリオを役割分担により実演</p> <p>【2回目】</p> <p>○日時：7月8日（日）13：00～16：00</p> <p>○場所：五所川原中央公民館第3会議室</p> <p>○講師：小田久恵、中村佳代子（23CROSS環境教育専門員）</p> <p>○内容：「省エネゲーム」「おしえてちきゅりん」のシナリオを役割分担して実演し、講師の指導を受けた。9名参加</p> <p>◎感想：A・Bの役割分担をして、パソコン操作しながらシナリオによる実演を体</p> |

青森県環境政策課

24.10.18

収受

験し、本番に向う心構えが出来た。シナリオ暗唱の必要性を感じた。「買い物ゲーム」「省エネゲーム」では、ゲームの説明を児童に分かりやすく説明できるような話し方を工夫しなければと感じた。

③出前講座の担当者同士の自主トレーニング

【1回目】

- 日時：7月23日（月）10:00～12:00
- 場所：NPO法人ECOリパブリック白神の事務所
- 内容：小山内専門員と「どっちかなゲーム」の実演練習。担当はB役

【2回目】

- 日時：9月3日（月）15:00～17:00、
- 場所：NPO法人ECOリパブリック白神の事務所
- 内容：伊藤専門員と「買い物ゲーム」の実演練習。担当はB役

【3回目】

- 日時：9月20日（木）16:30～18:00
- 場所：NPO法人ECOリパブリック白神の事務所
- 内容：伊藤専門員と「省エネゲーム」の実演練習。担当はA役

【4回目】

- 日時：9月24日（月）9:30～12:00
- 場所：五所川原市生協事務所
- 内容：柏谷専門員と「どっちかなゲーム」の実演練習。担当はA役

◎感想：コーディネーターさんに準備していただいた機器やゲームの教材を使いながら出前授業のシミュレーションをしてみて、シナリオが手放せないために担当者同士のかけ合いやスライドの切り替えタイミングなどごちない状態なので、本番までにシナリオ読みをがんばろうと思った。

3回目の「省エネゲーム」実演練習の時にシナリオが長いので、コーディネーターさんに相談しながら中間部のゲームの部分をBの担当として実施してみた。結構スムーズに進行できたので、本番は2名で分担しあうことにした。また、プレゼントボックスを効果的に開くために、スライド画面のアニメーションを一部変更して下さることになった。

4回の練習を通じて本番への心準備ができたので、今後も、パートナー同士で相談しながら必要に応じて事前練習を行いたいと思っている。

④出前講座の実際

【1回目】一三岳児童センター（1～6年、60名）

- 日時：7月25日（水）、9:30～11:00
- 内容：小山内専門員と「どっちかなゲーム」。担当はB役

◎感想：30分前集合後、コーディネーターさんと教材の設置。児童らが集まったところで小山内専門員と役割分担をしながら授業を行った。初めての出前授業だったので、どきどきしながらスタートしたが、児童らが元気いっぱいゲームを楽しんでいたのが、授業後担当者3名で安堵しあった。こども達の笑顔と活気が嬉しかった。

【2回目】一黒石東児童センター（1～3年、40名）

- 日時：8月23日（木）9:30～11:00
- 内容：小山内専門員と「おしえて ちきゅりん」。担当はA役

◎感想：到着後、スタッフ3名で教材の設置。10時より小山内専門員と一緒に授業スタート。初めてのA役でかなり緊張したが、暑さの中も目を輝かせてスクリーンを見ながら話を聞く児童らに勇気をいただいた。風力発電の実験とソーラーカーレースには一層張り切って参加していた。時間に余裕が出来たので2回目のレースを児童らに楽しんでいただき、汗だくになり

ながら無事終了という感じだった。

【3回目】一弘前市立北小学校3年生(24名)

- 日時：9月12日(水)8:15~10:15
- 内容：伊藤専門員と「買い物ゲーム」。担当はB役

【4回目】一弘前市立北小学校3年生(21名)

- 日時：9月12日(水)10:35~12:05
- 内容：伊藤専門員と「買い物ゲーム」。担当はB役

◎感想：今回はお店の店長役のB担当だったので、出来るだけシナリオを見ないように、自宅での自主トレを何回か行い本番に臨んだ。台本を持たないと心に余裕が出来、児童の動きが良く見え、対応も楽になるので、他のシナリオも出来るだけ覚えたいと思った。2回とも、児童らが買い物ゲームを楽しみながら、改めてごみについてよく考える機会になった様子。感想発表によく現われ嬉しかった。

【5回目】一黒石市立牡丹平小学校(5~6年14名)

- 日時：9月26日(水)9:50~11:50
- 内容：伊藤専門員と。担当はA役

◎感想：5・6年14名の複式学級で、大変仲がよく落ち着いた好ましい雰囲気の子ども達だった。3グループに分かれ、自然体でゲームを楽しんでいた。今回の授業前の事前打ち合わせで、小林コーディネーターさんがプレゼントボックスの映像画面を効果的にするために、アニメーションデータを一部直して下さり、その画面にあわせた説明文を事前に10画面分作成して授業に臨むことが出来た。それで、プレゼントボックスを開く場面では、児童らの反応に合わせてながら楽しく進めることが出来た。授業の最後の「これからの省エネ生活のアイデア」発表では、たくさんの前向きなアイデアが出されて、気持ちよく授業を終えることが出来た。

(3) 平成24年度消費電力見える化サービスモニターに応募・実践

【これまでの経過報告】

- 7月20日：青森県環境生活部環境政策課長宛にEメールで申し込む
- 7月29日：メールにて決定通知が届く
- 8月1日：NTT東日本「フレッツサービス」に「フレッツマーケット(光iフレーム2)」を申込む。
- 8月1日：NTT東日本より機器取付け工事の日程についての相談電話あり。
- 8月4日：NTT東日本より「開通のご案内」が届く
- 8月7日：過去データ報告準備として東北電力に「電気ご使用実績照会サービス」申し込み登録完了
- 8月9日：「電気ご使用実績照会サービス」用仮パスワード郵送で届く
- 8月11日：環境政策課へ上記を利用して使用電力量の過去データをメール送信
- 8月22日：機器取付け業者(佐藤電気)が取付けの下見に2名の方来宅
- 8月28日：取付け用機器が郵送で届く
- 8月29日：機器取付け作業完了(工事は3名で約3時間)
- 9月28日：環境政策課へ1回目のデータを送る

◎感想：モニター決定後、機器設置完了までの手続きや作業が、電子機器扱いが苦手な自分には結構煩雑に感じられた。が、設置後は、光フレームとパソコン画面の両方で常時消費電力情報を見ることが出来、「見える化サービス」の意味を納得しながら毎日一度はチェックしている。画面では、地域や家族構成、部屋数別の比較ランキングや、個人の消費電力量の前月比が一目で分かるので、電化製品を使用するときの意識がモニター以前とかなり違ってきている。暖房の季節も楽しみながら省エネの工夫をしたいと思っている。

(4) 「エコ端会議」に参加

○日時：9月28日(金) 14:00~16:00

○場所：五所川原市民学習情報センター視聴覚室

○内容：“うちエコ”の情報交換

○感想：参加者が2グループに分かれ、それぞれの“うちエコ”の情報交換をし合った。参加メンバーの中には生協関係の方々が多く、参考になる取組をたくさん聞くことが出来た。特に、今年の酷暑の夏の省エネとして、冷蔵庫の使い方、遮光のための工夫、ペットボトル温水の調理、雨水の利用などの他、冬に向けての省エネとして、ストーブは一度点火したら、一冬中一定の温度のままスイッチを切らないことなど、様々な体験談を聞いたので、見るエネモニターと併行しながら、出来ることに挑戦したいと思っている。

2、あおもりアースレンジャーつがるの会会員としての活動

(1) つがるの会月例会に出席

○月日：5月28日、6月25日、7月23日

○場所：弘前市民参画センター

○内容：メンバー相互の情報交換と今後のイベントなど確認

◎感想：毎月第4月曜日18:30~20:00の予定で定期的に行われ、会員同士の活動状況やホットな環境情報を知ることができるので、個人的には貴重な場となっているが、今期は時間的都合であまり参加できなかったのが残念に感じている。

(2) つがるの会としての環境イベントへの参加

◎つがるの会では弘前市内のスーパーなどでの環境展示による啓発活動を行っているが、個人的なボランティア活動の日程と重なり今期は残念ながら一度も参加することが出来なかった。来期には何とかして参加したいと思っている。

3、個人的研鑽・実践活動として

(1) HEP21生活環境グループ例会での研修など

①火力発電所見学(参加者14名、東北電力弘前の職員さん1名が添乗)

○日時：7月27日(金) 8:30~16:30

○場所：東北電力火力発電所

○内容：東北電力弘前営業所の社会貢献事業としてのバス送迎火力発電所見学

◎感想：見学を通して、現在弘前市の電力は、能代発電所から供給されていることも初めて知り、火力発電所施設及び併設させている風力発電所(600w 24基)も見学することが出来た。質問コーナーでは、原発稼働0期間の発電などについて、同行した小・中学生も大人と一緒に、職員さんの説明を熱心に聞いていた。なお、グループメンバーとしてこの企画に携わった。

②環境DVD視聴と話し合い(参加者6名)

○日時：9月4日(火) 10:30~12:00

○場所：弘前市民参画センター

○内容：前半はストップ温暖化センターあおもりよりお借りしたDVD「見直そう、わたしたちの暮らし~地球温暖化防止に向けた取組始まっています」を視聴。後半はDVD視聴の感想と参加者の日頃の省エネ実践を話し合った。

◎感想：参加メンバーは日頃から省エネ生活を送っている方だったので、DVDの内容についても実践していることが多く含まれていたが、改めて自分の生活を見直したり、エコの輪を周囲に広げていくアイデアなどを話し合うことが出来た。また、2月に有志で挑戦した手作り味噌の試食と意見交換をした。

(2) HEP21企画エコクッキングに参加

- 日時：8月18日（土）9：30～12：00
- 場所：弘前環境整備センタープラザ棟
- 内容：簡単クレープ作り
- ◎感想：日頃環境活動を続けているHEP21エコクラブの親子11名で参加した。楽しいクッキングと食事をしながら、環境にやさしい食材の選び方やごみやエネルギーを少なくする環境にも体にも優しい省エネクッキングを学びあう親子の姿がステキだった。

(3) HEP21エコクラブのエコキャンプ

- 日時：9月8日（土）9：30～9日（日）10：30
- 場所：岩木青少年スポーツセンターキャンプ場
- 内容：1泊2日の野外キャンプ
- ◎感想：小学低学年の児童と保護者計13名が参加し、エコクッキングの夕食と朝食を楽しんだ。夕食ではお湯を使ってジップロック袋ごはんを作り、朝食には牛乳パック使用のホットドッグなど、出来るだけごみを少なく、水を汚さない、二酸化炭素を出さないなどの工夫に子ども達も張り切って挑戦していた。

(4) 環境思想・教育研究会に参加

- 日時：9月29日（土）14：00～16：30、30日（日）午前
- 場所：弘前大学コラボセンター5階
- 内容：大会テーマ「環境思想から3.11を問い直す」の元に、第1回研究大会が本県で2日間にわたり行われ、全国から集まった研究者による講演、研究発表、シンポジウムが展開された。
- 感想：HEP21で行っている“だんぶり池”活動実践についての報告があり、また、初めて目にする「環境思想・教育」ということにも興味があり参加した。第1回研究大会の言葉が示すように、新しい学会の様子であった。「地球や人類の未来のためには、環境教育が大切であるが、そのための環境に対する哲学・思想を追求する学問」かな？という程度しか分からなかったが、温暖化防止推進活動の実践にも通じる、「自分なりの環境に対する考え方をしっかり持たなくてはいけない」といったようなことなのかもしれないとぼんやりと想像した。

【提出先】〒030-8570 青森市長嶋1-1-1
青森県 環境生活部 環境政策課 低炭素社会推進グループ
FAX 017-734-8065、E-mail kankyo@pref.aomori.lg.jp

【提出期限】上半期（4月1日～9月30日）分：10月31日まで
下半期（10月1日～3月31日）分：4月30日まで

あおもりアースレンジャー活動報告書

平成25年4月29日

青森県環境生活部環境政策課長 殿

活動内容を次のとおり報告いたします。

| | |
|------|---|
| 氏名 | 土岐 泰 |
| 活動期間 | 平成24年10月～平成25年3月 |
| 活動地域 | 主に弘前市周辺 |
| 活動内容 | <p>1、青森県環境政策課地球温暖化防止推進活動への参加・協力</p> <p>(1) 平成24年度環境教育専門員全体会の資料及び会議録の勉強</p> <p>①日時：1月30日（水）</p> <p>②場所：自宅</p> <p>③内容：1月27日（日）に行われた平成24年度環境教育全体会に私用のため出席できず残念に思っていた折に、本会企画担当の玉熊さんから当日の資料と会議録が届きました。大変嬉しくて感謝しながら資料と会議録を読ませていただきました。パワーポイントの資料では3地域の実施状況を知ることが出来、特に、会議録の方は、進行順に説明や発表の内容がその場にいるような臨場感溢れる記録になっていましたので、各地区での出前講座の様子や問題点を共有させていただくことができました。また、アンケート結果については、各プログラムについての専門員の取組や感想などの傾向がわかり、以後の出前講座を担当する場合にとっても参考になると感じました。また、本会に参加された専門員やNPO法人の方から直接に会議の雰囲気が良かったことをお聞きすることも出来、残りの出前講座の励みになりました。</p> <p>(2) 環境教育推進プロジェクトの一環である「環境出前講座」への参画</p> <p>①出前講座の担当者同士の自主トレーニング</p> <p>○日時：11月12日（月）10：00～12：00</p> <p>○場所：NPO法人ECOリパブリック白神の事務所</p> <p>○内容：小山内専門員と「買い物ゲーム」の実演練習。担当はB役</p> <p>◎感想：12月4日（城東小4年45名）、5日（桔梗野小4年43名）と2日続き実施予定の買い物ゲームをうまく進行できるようにコーディネーターさんにお付き合いいただきながら一通りの実演練習を行った。前期での経験を思い出しながら、特に買い物時のレジ係の役割分担やグループごとのおつり計算へのアドバイス、先生方との役割分担への心遣いなども確かめ合った。ともかく、出来るだけシナリオから離れて余裕を持って望みたい。</p> <p>②出前講座の実際 平成24年度前期に引き続いて</p> <p>【6回目】一弘前西部児童センター（1～6年、50名）</p> <p>○日時：10月10日（水）、16：00～16：45</p> <p>○内容：加藤専門員と「どっちかなゲーム」。担当はA役</p> <p>◎感想：児童センターなので、会場に到着したときにはすでに放課後の子どもたちがくつろいだ雰囲気で集まっていた。教材の準備をコーディネーターさんと準備後、早速ゲームをスタート。始めのクイズから和やかに順調に進み、中盤以降のどっちかなゲームでもAやBに移動しながら低学年のこども達は十分に楽しんでた。中高学年の中には、このゲームを経験したこどももいたようで、中には傍観的な様子も見受けられたが、児童館職員の方がフォローしてくださり無事終了することができた。</p> <p>【7回目】一三好小学校（5～6年、27名）</p> <p>○日時：10月29日（月）12：50～14：25</p> |

○内容：須郷専門員と「省エネゲーム」。担当はB役

◎感想：木造のステキな校舎で、到着後校長先生から学校や地域環境に恵まれ、対象学級も落ち着いた雰囲気のある複式学級であることを紹介していただいた。明るい日差しが入るランチルームで準備後、地球温暖化についての導入部分は順調に進み、省エネアイテムを買い換えるゲームもチームごとに相談しながら削減率を競い合った。最後のプレゼントゲームでは家族が一部屋で過ごす最も省エネになるところで大いに盛り上がり、そのことの感想発表なども出たり、地球温暖化防止に繋がる暮らし方をこども達も結構考えていることを実感できて嬉しかった。

【8回目】一ひなた児童館（1～3年、40名）

○日時：11月15日（木）15：00～15：45

○内容：柏谷専門員と「どっちかなゲーム」。担当はA役

◎感想：新築後間もない設備も整っている爽やかな児童センターの広々としたホールで、柏谷専門員と分担し合いながら明るく元気な子供たちと「どっちかなゲーム」を楽しむことが出来た。前半のクイズの方も、後半のゲームの時も問題によく反応しながら殆どの子どもたちが正解だった。が、青森県が他の県に比べてゴミの量が多いか少ないかの問題では、正解発表時に、少ないを選んだ子ども達があっさりし、逆に多いを選んだ数名の子がやったー！と大喜びをした後で、よく考えると多いことが残念なことなんだということに気付き、全員が複雑な表情をしていた。それでも最後のゴミを減らす作戦発表の時は、真剣な表情で食べ残しをしないとか、エコバックを使うとか日頃家庭や学校で行っているエコ活動を発表している姿に、子供たちの切替のすばらしさとさりげなくエコ活動を行っていることを嬉しく感じた。

【9回目】一北小学校（2年、53名）

○日時：11月22日（木）10：40～11：25

○内容：加藤専門員と「どっちかなゲーム」。担当はA役

◎感想：「どっちかなゲーム」は何度か繰り返しているのですが、授業の進行に大分慣れてきたような気がしていたのですが、どっちかなミュージックのスタートと終了のスイッチが旨く出来なくてタイミングがずれることがあり冷や汗が出た。その他については、特に加藤専門員とは何度か一緒にさせていたでいることもあり、チームワーク良く行うことが出来たと思う。

【10回目】一城西小学校（5年、46名）

○日時：11月29日（木）13：40～15：15

○内容：加藤専門員と「省エネゲーム」。担当はA役

◎感想：5・6年14名の複式学級で、大変仲がよく落ち着いた好ましい雰囲気の子ども達だった。3グループに分かれ、自然体でゲームを楽しんでいた。今回の授業前の事前打ち合わせで、小林コーディネーターさんがプレゼントボックスの映像画面を効果的にするために、アニメーションデータを一部直して下さり、その画面にあわせた説明文を事前に10画面分作成して授業に臨むことが出来た。それで、プレゼントボックスを開く場面では、児童らの反応に合わせて楽しく進めることが出来た。授業の最後の「これからの省エネ生活のアイデア」発表では、たくさんの前向きなアイデアが出されて、気持ちよく授業を終えることが出来た。

【11回目】一城東小学校（4年、45名）

○日時：12月4日（火）13：40～15：10

○内容：小山内専門員と「買い物ゲーム」。担当はB役

◎感想：事前の実演練習をしたこともあり、お互いに協力し合いながら結構スムーズに進めることができたと思う。B役は話す部分も少ないので、せめてお

店の説明の部分だけはシナリオを見なくてもいいようにがんばったら、子どもたちの顔を見ながらゆとりを持って話すことができた。翌日のA担当でも少しでも多くシナリオから離れるよう心掛けた。買い物ゲームは2回とも、小山内専門員の旨い進行で順調に進み、子ども達はできるだけゴミを少なくする方法を一生懸命考えながら買い物をしていた。そして、日頃の買い物を見直すきっかけになったのではないかと思っている。

【12回目】—桔梗野小学校（4年、43名）

○日時：12月5日（水）9：20～10：50

○内容：小山内専門員と「買い物ゲーム」。担当はA役

◎感想：前日に引き続きの買い物ゲームでAを担当。前半は大分シナリオから離れることが出来たが、「ゴミをかたずけるのにお金がかかる」ことを説明する部分はシナリオを見ながらも部分もあり苦労した。この部分は、次回には覚えてしまおうと思った。それでも、買い物とおつり計算の所は、先生方やコーディネーターさん、小山内専門員の協力をいただきながら無事終了することができ、子ども達もゴミのことを考えて買い物をすることが理解できたような気がする。

【13回目】—小沢小学校（2年、62名）

○日時：12月12日（水）9：35～11：10

○内容：久保田、伊藤、須郷専門員と「買い物ゲーム」。担当はB役

◎感想：2年生62名の「買い物ゲーム」ということで、コーディネーターさんが専門員4名のシフトを組んでくださりまた、おつりを確かめるグループ担当や先生方への応援もお願いするなど事前の準備を細やかにしてくださったので、買い物もおつり計算も大変スムーズに出来ていた。ただ、買い物の場面ではどれか一つをどれも一つと勘違いしたり、電卓での計算がうまく出来なかったりしたグループもあり、買い物ゲームはやはり中学年を対象にしたほうが良いと感じた。

【14回目】—西なかよし会（1～3年生 28名）

○日時：1月11日（金）10：30～11：30

○内容：加藤専門員と「どっちかなゲーム」。担当はA役

◎感想：今回も加藤専門員とのチームだったこと、さらに西なかよし会は加藤専門員のホームグラウンドだったこともあり、子ども達とうちとけた雰囲気での授業となり、子ども達はゲームを楽しみながらゴミについていろいろ考えることが出来たと思う。ただ、1年生以外の子ども達はこのゲームをすでに経験していたようで、どっちかの答えを殆ど知っているために新鮮味に欠けていたことと思う。それでも結構ゲームに興じていたのは同じことを何回でも楽しむことができる子ども達のすばらしさだと思う。

【15回目】—豊田小学校（4年生 69名）

○日時：1月25日（金）8：50～10：25

○内容：小山内、久保田、加賀谷専門員と「買い物ゲーム」。担当はB役

◎感想：アースレンジャー仲間の専門員4名のシフトで、しかも進行の上手い小山内専門員がA役だったので、大変楽しく買い物ゲームが進められ、買い物ゴミを出来るだけ買わないように工夫することを子ども達は楽しみながら学ぶことが出来たと思う。今回レジ係を担当して、レジ係担当者はあわただしい雰囲気の中なので、特に落ち着いておつりを間違わないように充分気をつけることが大事だということを感じた。

【16回目】—五所川原市立南小学校（3年生51名）

○日時：2月4日（月）10：35～12：10

○内容：須郷専門員と「買い物ゲーム」。担当はB役

◎感想：雪道の交通渋滞などを心配しながら早目に出かけたら、以外に早く到着す

ることが出来、ゆっくりと準備をすることも出来た。須郷専門員の進行に合わせながらB役を担当。3年生なので、おつり計算などグループの様子をていねいに見回るように心がけた。また、2回目の買い物の前の作戦シート作業の時も、必要に応じてアドバイスをしながら子ども達と触れ合うに務めた。まもなく4年生に進級する3年生だけに、ゲームを楽しみながら買い物とゴミのことを良く考えていたと思う。

【17回目】—北児童センター（1～3年 60名）

○日時：3月26日（火）13：30～14：30

○内容：久保田専門員と「どっちかなゲーム」。担当はA役

◎感想：自分にとっても、本事業にとっても最後の授業だったので、久保田専門員・コーディネーターさんと共に気を引き締め合って授業に臨んだ。また、前回から1ヶ月半以上後の久しぶりの授業だったので、時間がオーバーしないようにゲームを進めていたら、子ども達もタイミングよく動いて順調に進行し、以外に早く終りそうになり最後のゴミを減らすアイデアを何人も子ども達から聞くことが出来た。そして、最後にセンター職員さんのアドバイスで質問コーナーを持つこともでき、布のリサイクルの質問についてみんなで考えることが出来、感想発表の時には質問も出してもらうのも面白いということ、最後の授業で気が付いたので、来年度もあるならこれを取り入れてみたいと感じた。

(3) 平成24年度消費電力見える化サービスモニターのモニターレポート提出

前期に引き続きで第2回目からの提出月日と報告のおもな内容

○第2回目—10月19日

涼くなってからの1日平均消費電力量が少しずつ少なくなっているが、特に9月以降、冷蔵庫の消費電力量が約3分の2に減っている。外気温が室内温度も下がったからかもしれないこと。

○第3回目—11月21日

暖房使用とともに消費電力量がアップした。ただ、外出時間が長い日は、前月と同様くらいになっている。ウォームシェアの情報が頷けること。

○第4回目—12月25日

消費電力量が夏の頃の約2倍になった。暖房、風呂、調理時間などの原因が考えられる。前回同様に在宅時間と消費電力量は相関していること。晴の日のウォーキングや早寝作戦を実行したいこと。

○第5回目—2月11日

1月の消費電力量が、予想通りモニター開始からの最大だった。家族構成別・間取り別のランキングから見ると、冬場は家族が同じ部屋で過ごす省エネ作戦が有効であることが良く分かるような結果だったこと。

○第6回目—4月11日

不在日が多かった（13日）2月は1月、3月よりも消費電力量がグーンと下回った。13日間の冷蔵庫の消費電力量が6kWh分減少していた。これは、冷蔵庫の開閉をしなかった分の値に相当するのかも知れないこと。

以上6回のモニター報告をしたが、冬場になってからは2ヶ月置きの報告になったことがまず反省点である。大雪のために除雪に明け暮れたこと、春になってからは緊張感が緩んだことが原因なので、これからは気を引き締めて省エネにも報告にもがんばらなくてはと思っている。

2、あおもりアースレンジャーつがるの会会員としての活動

◎つがるの会月例会に出席

○月日：10月22日（月）18：30～20：00

- 場所：弘前市民参画センター
- 内容：メンバー相互の情報交換と今後のイベントなど確認
- ◎感想：今年の冬は、アースレンジャーつがるの会も休会ぎみであったので、この後再会する時には出来るだけ参加したいと思っている。

3、個人的研鑽・実践活動として

(1) HEP21生活環境グループ例会での出前講座「紙ごみについて」

- 日時：11月6日(火) 10:30~12:00
- 場所：弘前市民参画センター
- 講師：弘前市役所環境政策課職員
- 内容：今年度からはじめた雑紙収集の状況について
- ◎感想：市役所職員さんから雑紙収集状況のお話を聞き、収集量があまり多くないことを残念に思った。身の回りの人たちから雑紙の出し方が良く分からないということを目にすることが多い。市役所の担当課では広報「ひろさき」に掲載して収集を呼びかけているが、1回だけでなく再度方法を変えたりしながら雑紙収集の情報を提供して、今後はより多くの市民の方の収集への協力を呼びかけ、紙のリサイクルを進めていく必要があることなどを参加者と一緒に確かめ合った。自分としてももっと積極的に紙ごみ収集に協力したいと思った。

(2) HEP21エコクラブ関係の実践活動として

① 市民ボランティア交流祭りへのパネル展示(エコ活動紹介) 親子17名

- 日時：10月21日(日) 10:00~15:00
- 場所：弘前市民参画センター
- 参加者：メンバー8名、大人9名 合計17名
- 内容：24年度4月~10月までの月例会の内容をコメント入り写真で紹介したパネルを展示し、訪れた市民の方々にエコクラブの環境活動を紹介した。
- ◎感想：この交流祭りは、市民参画センターの利用団体や市民ボランティアグループなど多数の団体が参加しているので、子どもたちが取組んでいるエコ活動をたくさんの市民の方々に知っていただく貴重な機会になっている。メンバー達は、初めて出会う市民の方々にだんぶり池の生き物のこと、身近な川(岩木川・土淵川)の水質調査結果、エコキャンプでの省エネクッキングのことなどを説明したり、質問に答えるなどすばらしい体験が出来たのではないかと感じている。

② 親子LED工作教室~あおもリエコの環スマイルプロジェクト in 弘前

- 主催：あおもリエコの環スマイルプロジェクト実行委員会
- 日時：平成25年1月14日 13:00~14:30
- 場所：アプリーズ4F特設会場
- 参加者：メンバー6名、大人5名、 合計11名
- 内容と感想：LEDライトを使ったオリジナルランプを作る工作教室に参加したメンバー達は、指導者の方の説明を聞きながら、また保護者のアドバイスやサポートを受けながら、手順に従ってそれぞれステキなオリジナルランプを完成させ、嬉しそうに家路についた。メンバーの中には、お気に入りのライトをつけたまま夢の世界に入っていた子どももいたとのこと。また、冬休みの作品として学校に持っていた子どももいたようだった。冬休み中の子ども達にとってステキな企画に参加させていただいたこと、企画され団体に感謝している。

② 親子エコクッキング

- 日時：1月20日(日) 9:00~13:00
- 場所：清水交流センター

○内容：メニューはドライカレー、白菜サラダ、リンゴのタルト

◎感想：子どもたちお楽しみの恒例の行事になっているので、「地産地消の食材で時間とエネルギーを節約！」を合言葉に、小中高生と保護者13名が地元のりんご、豚肉、白菜などを使いながらのエコクッキングを楽しんだ。

③ 壁新聞作り～子どもエコクラブ全国フェスティバル参加に

☆壁新聞作りは、12月25日、26日、1月4日の約10時間、メンバー7名が月例会の活動の様子を子ども達なりに工夫を凝らし模造紙1枚にまとめて制作。

その後、弘前市役所環境政策課～青森県環境政策課を通して全国事務局に提出した結果、青森県選抜として、全国フェスティバルにメンバー3名、保護者1名、引率1名の5名で参加。全国162クラブから集まった261枚の壁新聞が展示された会場で、約200名ほどの子どもたちが展開しているエコ活動を各グループ制作の壁新聞を使って紹介し合った。その中で、子どもたちが地域で取り組んでいる省エネ活動が数多く紹介され、また、未来のエネルギー、資源リサイクルなど協賛企業の展示ブースも多数あった。子どもと共に大いに学んだことを今後の活動に繋げて行きたい。

なお、壁新聞選抜に合わせて特別賞コカコーラ賞を受賞し、そのことも合わせて下記2行事に参加した。

○3月21日(木) 13:00～15:30, ラ・プラス・青い森で行われた「平成24年度青森県循環型社会形成推進功労者等表彰式等及びもったいない・あおり県民運動推進会議表彰式並びに受賞者発表会」に参加し、エコクラブメンバーが壁新聞をもとにエコクラブの取組を発表

○3月27日(水) 14:00～14:30弘前市役所にて、エコクラブメンバー11名及びサポーター等5名が参加し、弘前市長さんに壁新聞を使ってエコクラブの日頃の活動紹介と全国フェスティバルへの参加報告をした(弘前市役所環境政策課による企画)

以上

【提出先】〒030-8570 青森市長嶋1-1-1

青森県 環境生活部 環境政策課 低炭素社会推進グループ

FAX 017-734-8065、E-mail kankyo@pref.aomori.lg.jp

【提出期限】上半期(4月1日～9月30日)分:10月31日まで

下半期(10月1日～3月31日)分:4月30日まで